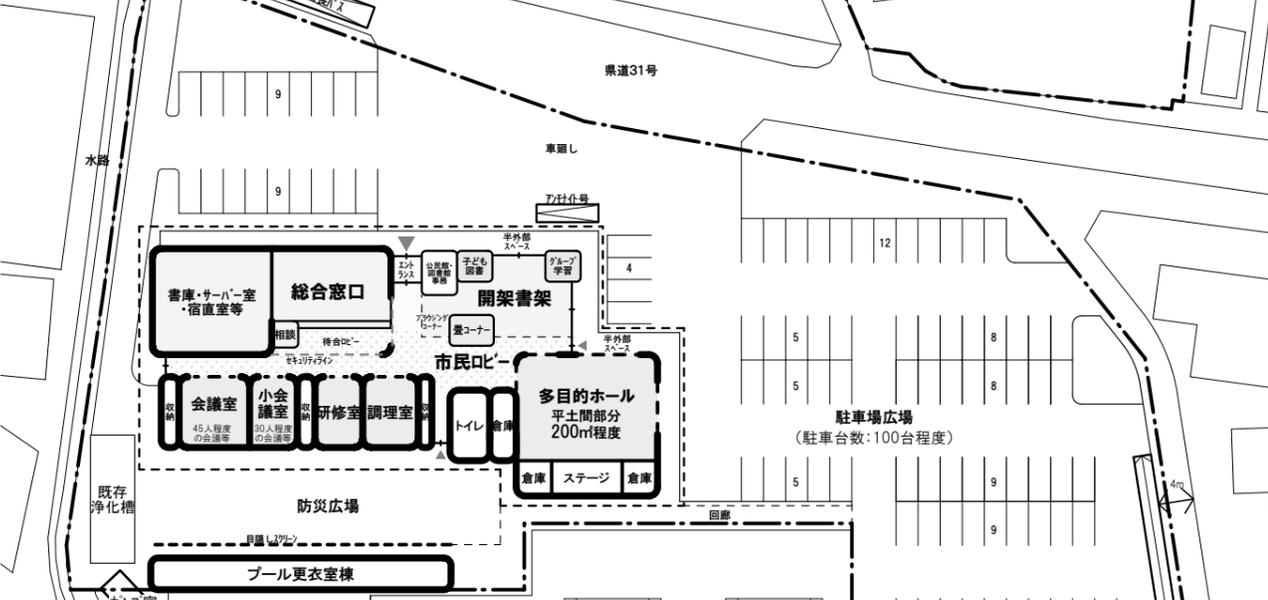


2 公民館、図書館、総合支所のつながり方について出された意見

公民館、図書館、総合支所の、3つの機能のつながり方について、紙上ワークショップで示したタイプA、タイプBの2つの考え方について、出された意見をまとめました。

1) タイプA展開案について



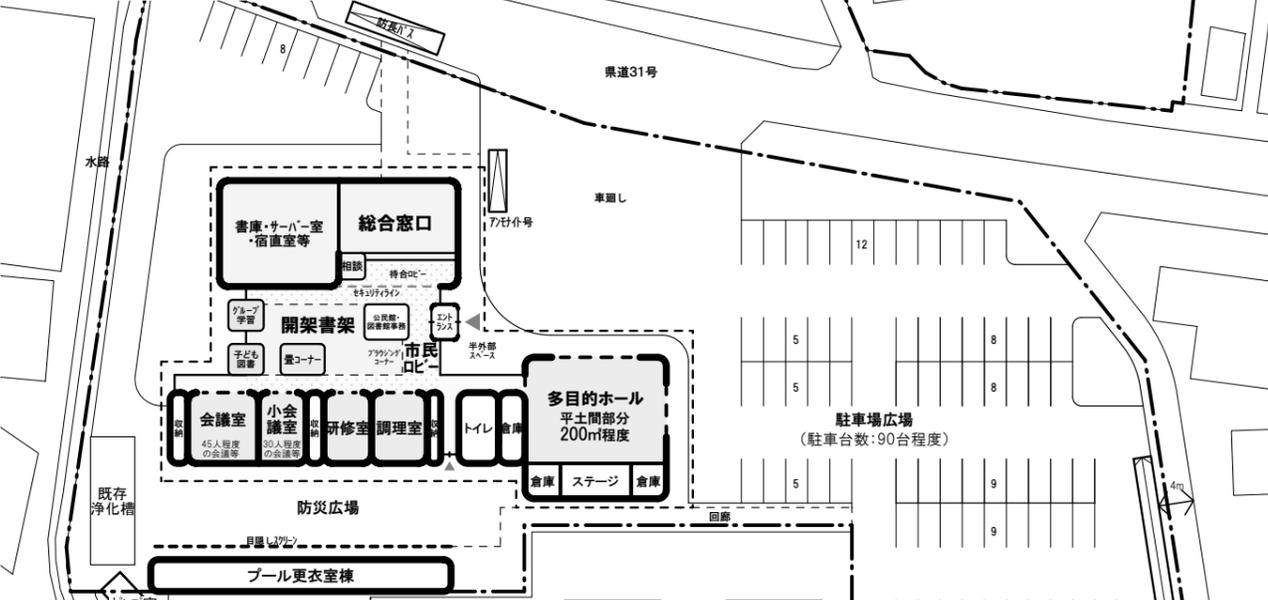
評価された点

- 市民ロビーを介して、それぞれの機能につながる空間構成は、コンパクトでまとまりが良さそう
- 図書館が、タイプBに比べて管理がしやすそう
- 図書館から、バスや送迎車が確認できるのが良い
- エントランスが、北側駐車場から近くて良い

改善すべきとされた点

- 図書館と多目的ホールは、防音上離れた方がよい
- 公民館と支所は、離れた方がお互い利用しやすい
- 公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい

2) タイプB展開案について



評価された点

- 市民ロビーが、図書館と一体的に利用できる空間構成は、明るく広がりを感じられて良い
- 市民ロビーから、バスや送迎車が確認できて良い
- 総合窓口と公民館に適度な距離があるのが、お互い利用しやすいように良い
- 他の機能への音の影響を考えると、多目的ホールが別棟的に配置されているのが、防音上良さそう

改善すべきとされた点

- 市民ロビーが狭く感じる。通路のようになりそう
- オープンな図書館は、時間外の管理が難しそう
- 図書館が、落ち着いて利用ができなさそう
- 公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい
- エントランスが駐車場から遠い

■施設整備における市の基本方針について、紙上で意見を募りました
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月以降延期を余儀なくされていた第4回市民ワークショップについては、7月中旬に紙上ワークショップというかたちで実施しました。
この紙上ワークショップでは、第3回市民ワークショップまでの議論の成果を踏まえながら、市から示された施設整備における基本方針「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」について、市民の皆さまにお知らせするとともにご意見を頂きました。

■市の方針に概ねの理解は得られたものの、ご批判の声もありました
第3回までの市民ワークショップ参加者をはじめとする市民70名に資料を配布し、うち45名分の回答が得られました。回答を整理した結果、市の基本方針については、厳しい財政事情や、益々進行する人口減少という状況の中で、出来るだけコンパクトで、使いやすい施設として整備し、将来的な市民の負担を出来るだけ軽くすべきであるという考えの基で、概ねの理解が得られたのではないかと思います。
しかし、住民ヒアリングや、市民ワークショップで、解体する秋芳体育館の代わりにミニ体育館機能を併設することについて、多くの意見が出されたことに対する十分な議論が出来ていないことや、図書館機能に対する意見、この内容で新しい地域の中心がつかれるのかなどといったご批判の声もありました。

■新しい拠点施設が備えるべき機能等について引き続き議論を重ねます
本来、第4回市民ワークショップにおいて議論すべき内容を、一方通行のようなかたち（紙上ワークショップ）でお図りしたことで、大切な議論の流れを混乱させてしまったように感じています。第4回市民ワークショップは、最も時間をかけて話し合うべき段階でしたが、コロナ禍で4ヶ月の空白が生じたことで、少し性急に過ぎたと思っております。ご批判頂いた内容についても、引き続き検討が必要です。
現在は基本計画段階で、施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後、基本設計段階でも、市民ワークショップにより検討を重ねて行く予定です。ご理解とご協力をお願い致します。

施設整備における市の方針（配布資料から一部抜粋）

第3回市民ワークショップでは、ミニ体育館を複合し整備するタイプの考え方が評価されたところですが、新秋芳総合支所庁舎等の整備における市の方針としては「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」ことになりました。昨年の市の出生者数は76人です。将来的な人口減少に備え市民への過度な負担を避けるため、コンパクトで利用しやすい施設整備が求められます。500㎡の面積を追加した新たな体育館的な機能を備えたかたちでの整備は現実的には大変厳しい状況にあります。代替え可能な施設を活用して頂き、これまでの活動を継続して頂くことを切に願っております。

また、新庁舎の建設位置は、第2回市民ワークショップでの検討結果に従い「秋芳体育館の解体跡地」とすることを予定しています。仮設庁舎を建てず建設可能であり、費用削減効果が期待できることもありますが、工事期間中でも総合支所や公民館、図書館での市民サービスが継続できることが理由として上げられます。

今後は、多目的ホールの有効活用を検討することになります。大会議室や災害時には避難所として、また、健康寿命を延ばすための軽運動場、大切に続けてきた地域のお祭り等を支える会場、また、文化的な活動の発表の場として現在の機能を継承していきたいという意見が上がっています。バレーボールができる天井高はありませんが、音響や空調等の機能を充実させた使い勝手の良い施設として使って頂けるよう、今後も皆様とともに計画づくりを進めていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/14(土)
・秋芳地域の魅力と抱える課題
・こんな複合施設だったらいいな！

◎秋芳中学校ワークショップ 1/17(金)

◎第2回ワークショップ 1/18(土)
・建設場所について
・必要な場所・空間の相互関係

◎第3回ワークショップ 2/15(土)

・「空間の構成図」について検討
・体育館機能の維持・継承の考え方

◎第4回ワークショップ(紙上) 7月中旬

・市の基本方針について
・公民館、図書館、総合支所の3つの機能のつながり方について

◎第5回ワークショップ 9/19(土)

・基本計画案について

次回
開催

パブリックコメント・住民説明会

基本計画のとりまとめ

◎第6回ワークショップ

・配置、平面計画
・内部空間と外部空間

◎第7回ワークショップ

・平面計画、断面計画、外観イメージ
・建物の性能を比較

基本設計のとりまとめ

第4回市民ワークショップ(紙上協議)のまとめ

第4回市民ワークショップ(紙上協議)では、次の2つのテーマについて市民の意見を募りました。

1:市の基本方針「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」について

2:公民館、図書館、総合支所の、3つの機能のつながりについて

第4回市民ワークショップ(紙上協議) 基本情報

配布期間	配布数	市民WS参加者	回答数	市民WS参加者
2020.7.11~7.13	47名	47名	32名	32名
回答期間	2020.7.13~7.22	その他	その他	13名
		合計	合計	45名

1 市の基本方針について出された意見

「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」という市の基本方針について出された記述式の意見を、1) 体育館機能は整備しないことについて、2) 施設規模は1,200㎡とすることについて、3) 多目的ホール200㎡程度について、それぞれ「賛成寄りの意見」、「反対寄りの意見」等に整理し、意見をまとめました。なお、出された意見の中に各項目に関連するキーワード等が無かった場合は、「意見の記入無し」として分類しています。

1) 体育館機能は整備しないことについて

■**体育館機能の整備は不要:市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……24/45名**

○秋吉小や秋芳中の体育館をシェアして利用すればよい

- ・室内スポーツは、秋吉小や秋芳中の体育館を活用すれば十分対応できる
- ・現在の使用頻度を考えると体育館機能は新たには不要
- ・小学校、中学校体育館の利用率を上げてほしい

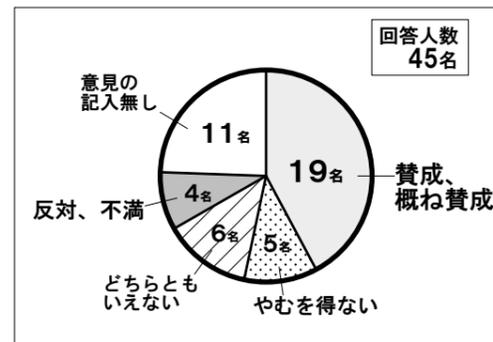
○市の財政状況や出生率を踏まえ、将来の負担を少なくすることは重要

- ・人口減少など、将来的なことや予算面を考慮すれば、市の基本方針が妥当

■**体育館機能の整備は必要:市の基本方針に反対、不満……4/45名**

○学校体育館と、市民が利用する体育施設のシェアは難しい

- ・学校教育の中で求められる体育館の機能と市民活動の中で求められる機能は違っている
- ・市民の体育館を学校とシェアすることは、学校側、一般側も双方に使いにくいものになり、活動を抑えてしまう

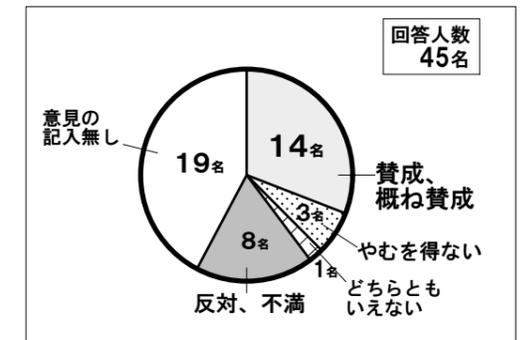


2) 施設規模は1,200㎡程度とすることについて

■**コンパクトで利用しやすい施設にすべき:市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……17/45名**

○将来的な負担を軽減するために、コンパクトで利用しやすい施設としてほしい

- ・今後の市の財政状況および将来の維持管理費用なども十分考慮したうえでの計画づくりが重要
- ・市民のニーズにしっかり応えつつも、なるべくコンパクトな庁舎を建てるのに賛成
- ・将来的な人口減少を考えれば、やむを得ない



■**中途半端な施設では利用しにくくなる:市の基本方針に反対、不満……8/45名**

○施設整備には、将来に向けたまちづくりという観点が必要

- ・「文化的で、安心安全な生活を提供する"秋芳地域の新しい拠点"を創る」という目的が、「建設費をカットする」という目的にすり変わっている
- ・人口が少なくなるといっても、ある程度の広さは必要。若者が定着する魅力あるまちづくりが必要

○中途半端な施設にならないように十分な検討が必要

- ・中途半端で使いにくいものをつくる方が余程無駄使いである
- ・何回も建て替えることができないので、十分なスペースの確保を検討し住民が納得できる施設としてほしい

3) 多目的ホール200㎡程度について

■**200㎡程度の多目的ホールで十分:市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……15/45名**

○地域の文化活動の拠点として、200㎡程度の多目的ホールが整備されれば十分

- ・ステージが設置されていることで「ふれあい祭り」等のイベントに活用できることは大変利用価値がある
- ・半外部スペースの平土間部分が設けられており、多面的な利用が可能だと考えられる
- ・多目的ホールは、広さとしては現在の秋吉公民館大会議室以上に確保でき、十分である
- ・草太鼓の活動場所が無くなることを心配していたが、多目的ホールの設置によりその心配もなくなり安心

■**200㎡程度よりも大きなホールが必要:市の基本方針に反対、不満……7/45名**

○避難所としての利用を考え、面積を広くして出来るだけ収容人数を増やしたい

- ・多目的ホールは避難所等の利用を考えればもっと広い方が将来的に有効活用できる
- ・避難所として利用する場合の避難者の居住スペースとして、1人あたり3㎡は確保してほしい

○市民の様々な活動のために、250~360㎡の面積を確保してほしい

- ・施設を構成する機能の広さを再検討し、1,200㎡の枠内で、多目的ホールをできるだけ広くしてほしい